
平成27年度第1回 日進市地域公共交通会議 資料

【報告事項】

平成26年度の運行実績について ……P 1

【議題】

(1) 平成27年度歳入歳出予算について ……P 4

(2) 地域公共交通網形成計画(案)パブリックコメント結果について ……P 5

(3) 地域公共交通再編実施計画策定調査事業について ……P 8

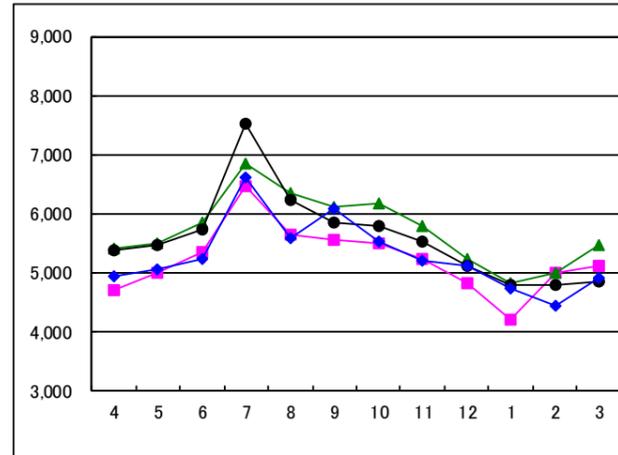
【参考資料】くるりんばすを取り巻く状況の変化 ……P 9

平成27年4月24日

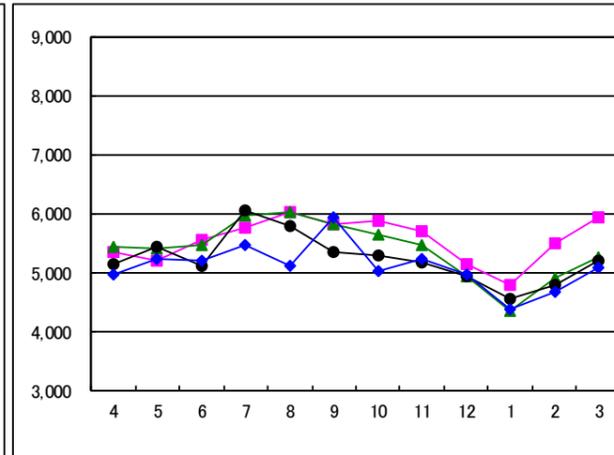
報告事項 平成26年度の運行実績について

くるりんばす月毎利用者数

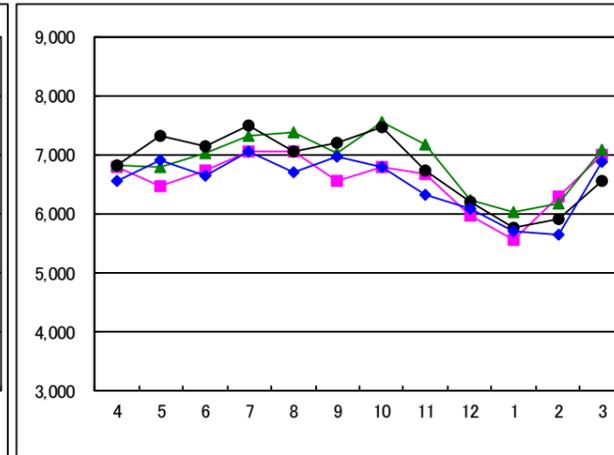
東コース



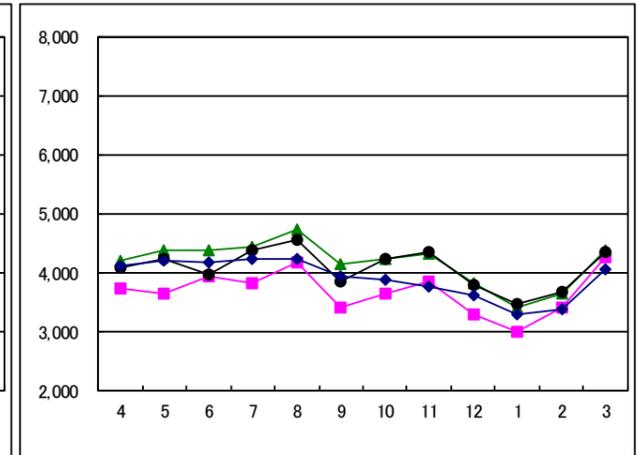
西コース



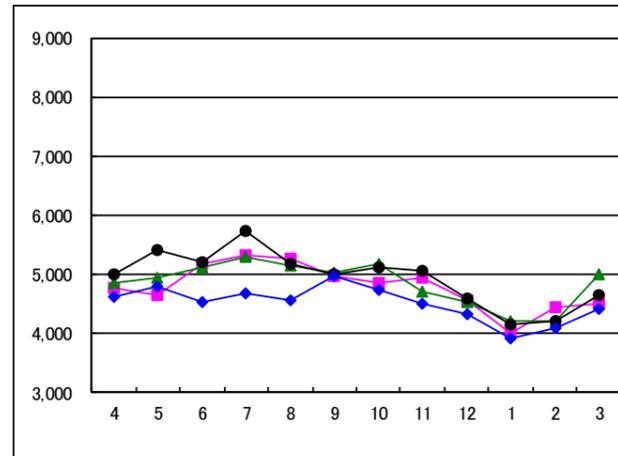
南コース



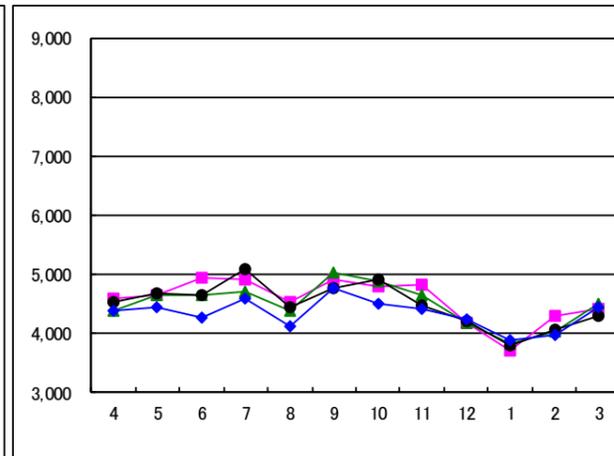
北コース



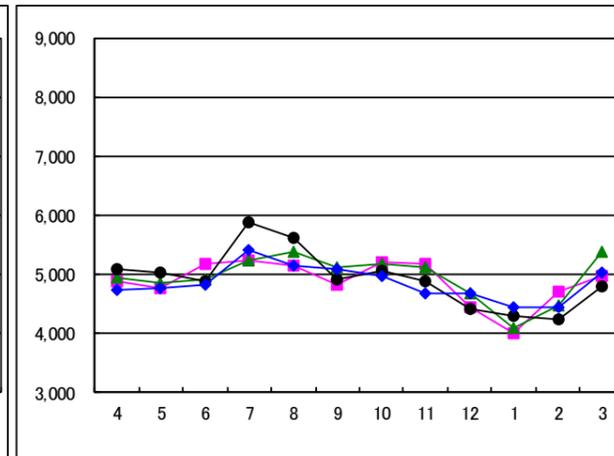
中コース



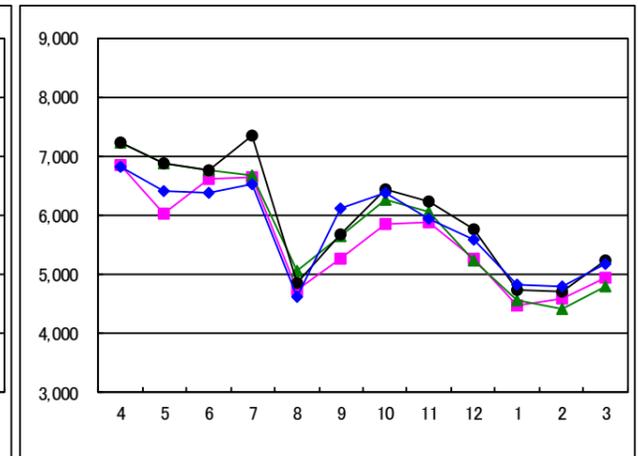
東南コース



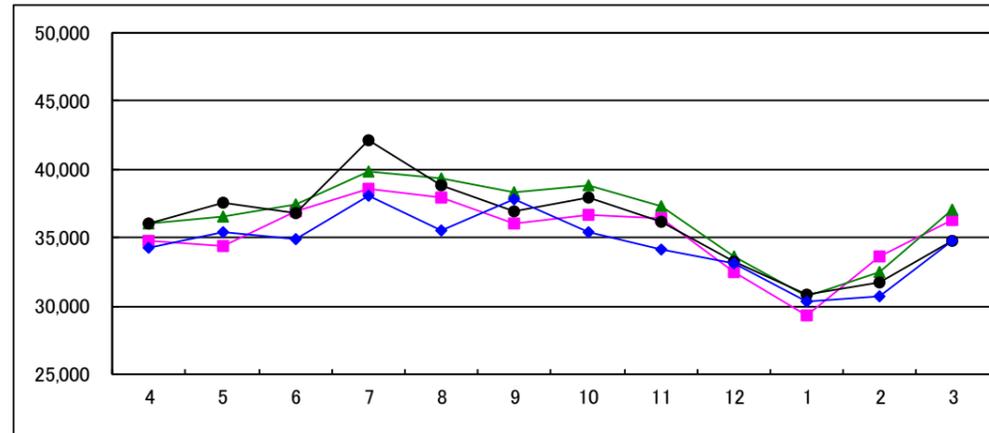
南西コース



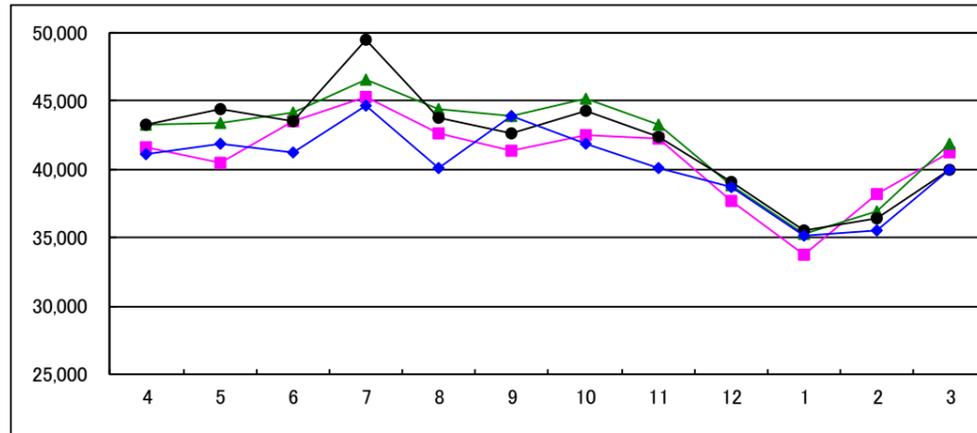
中央線



7コース

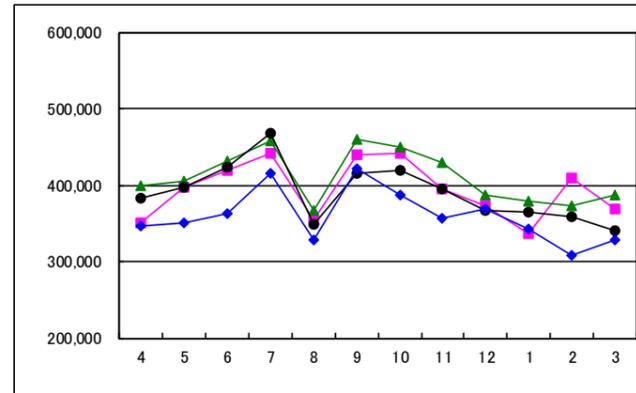


8コース

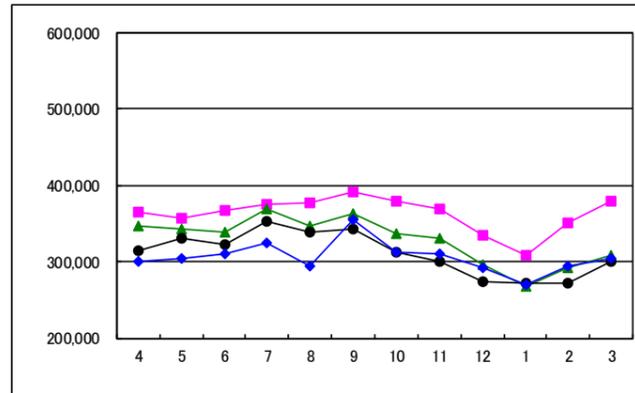


くるりんばす月毎運行収入

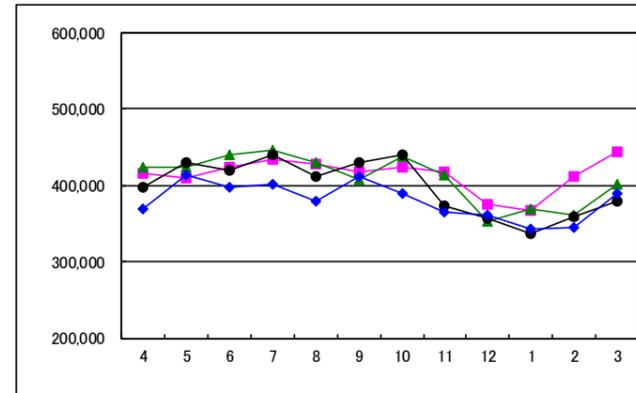
東コース



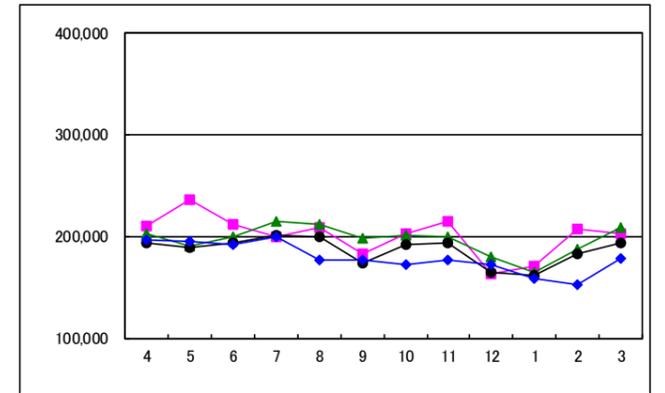
西コース



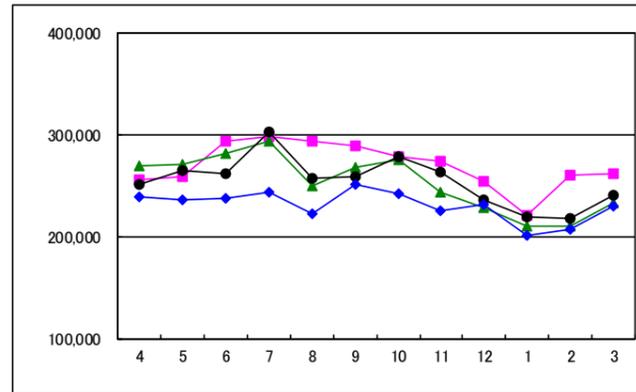
南コース



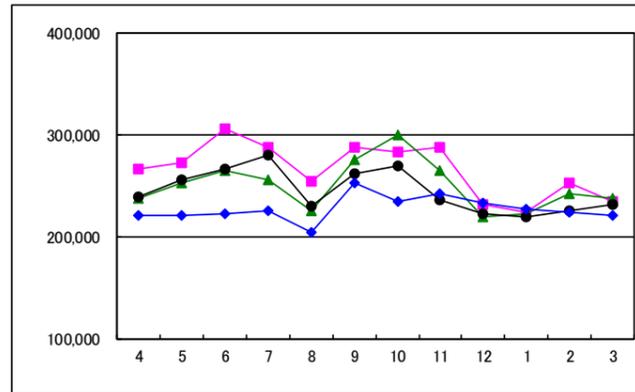
北コース



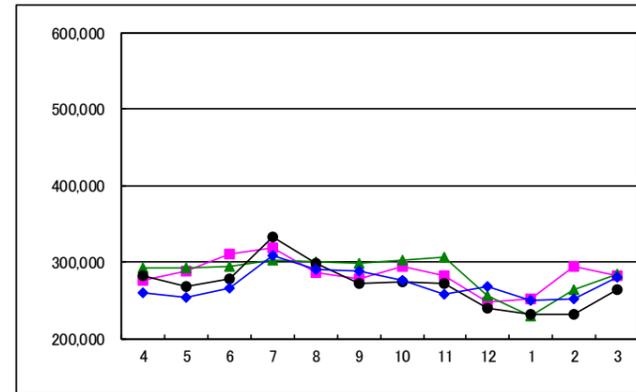
中コース



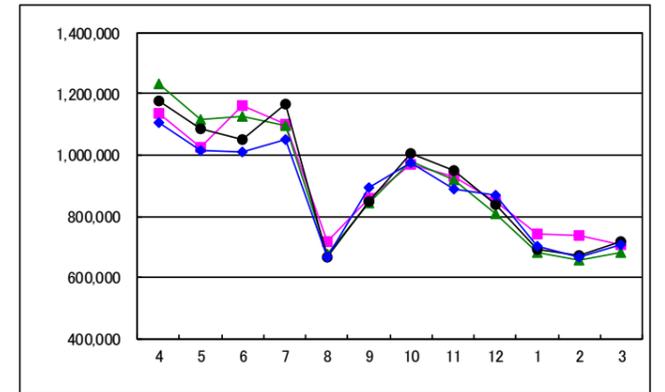
東南コース



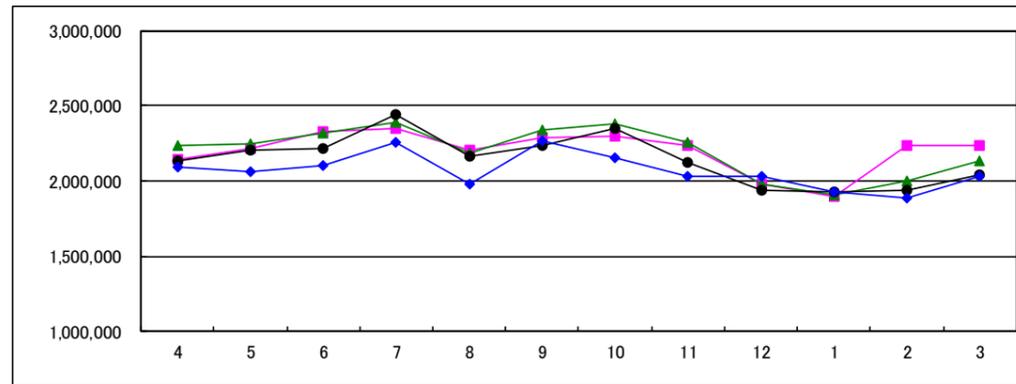
南西コース



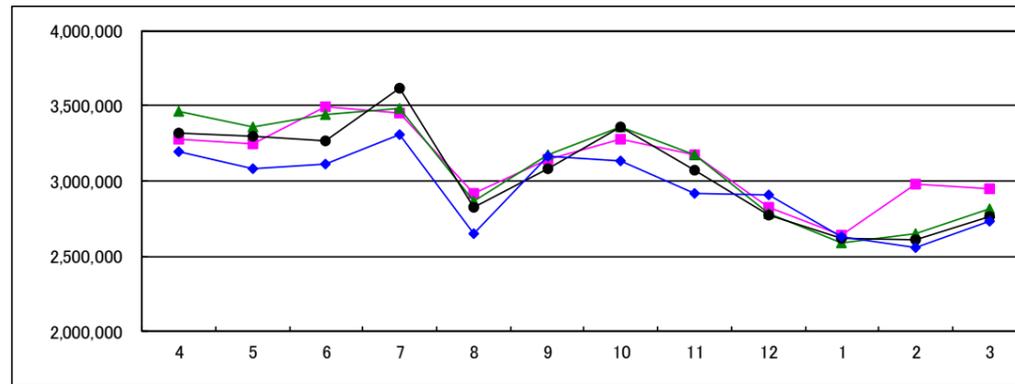
中央線



7コース



8コース



円/月

ピンク	23年度
緑	24年度
黒	25年度
青	26年度

1 利用者数の推移

平成 20 年度から平成 26 年度までの利用者数を比較すると、中央線を含めた全体の利用者数は平成 26 年度が過去最低となった。

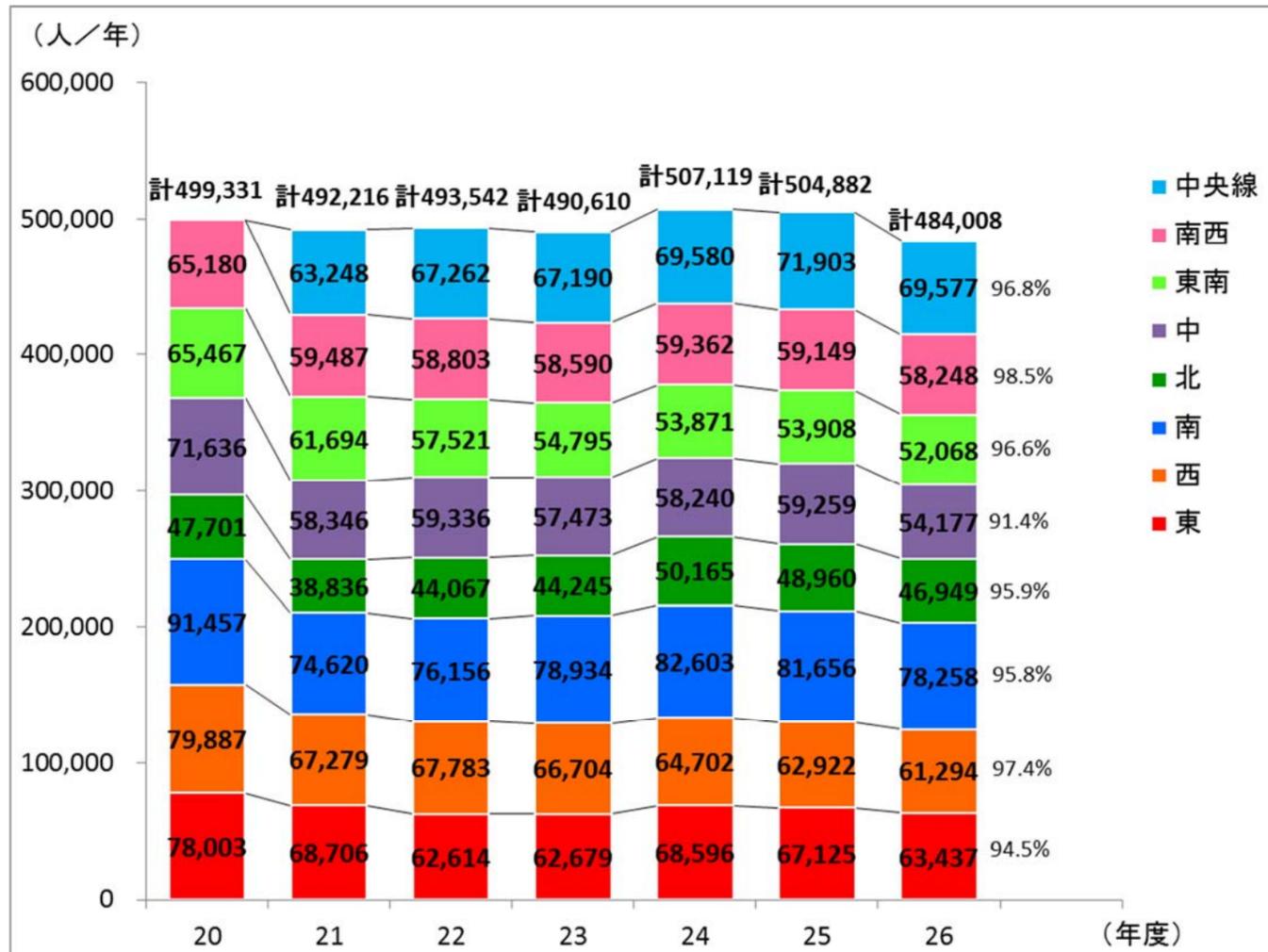
平成 26 年度の結果をコース別に見ると、各コースともに前年度に比べて減少している。特に、東コース、中コースにおいて減少率が高くなっている。

2 車内収入の推移

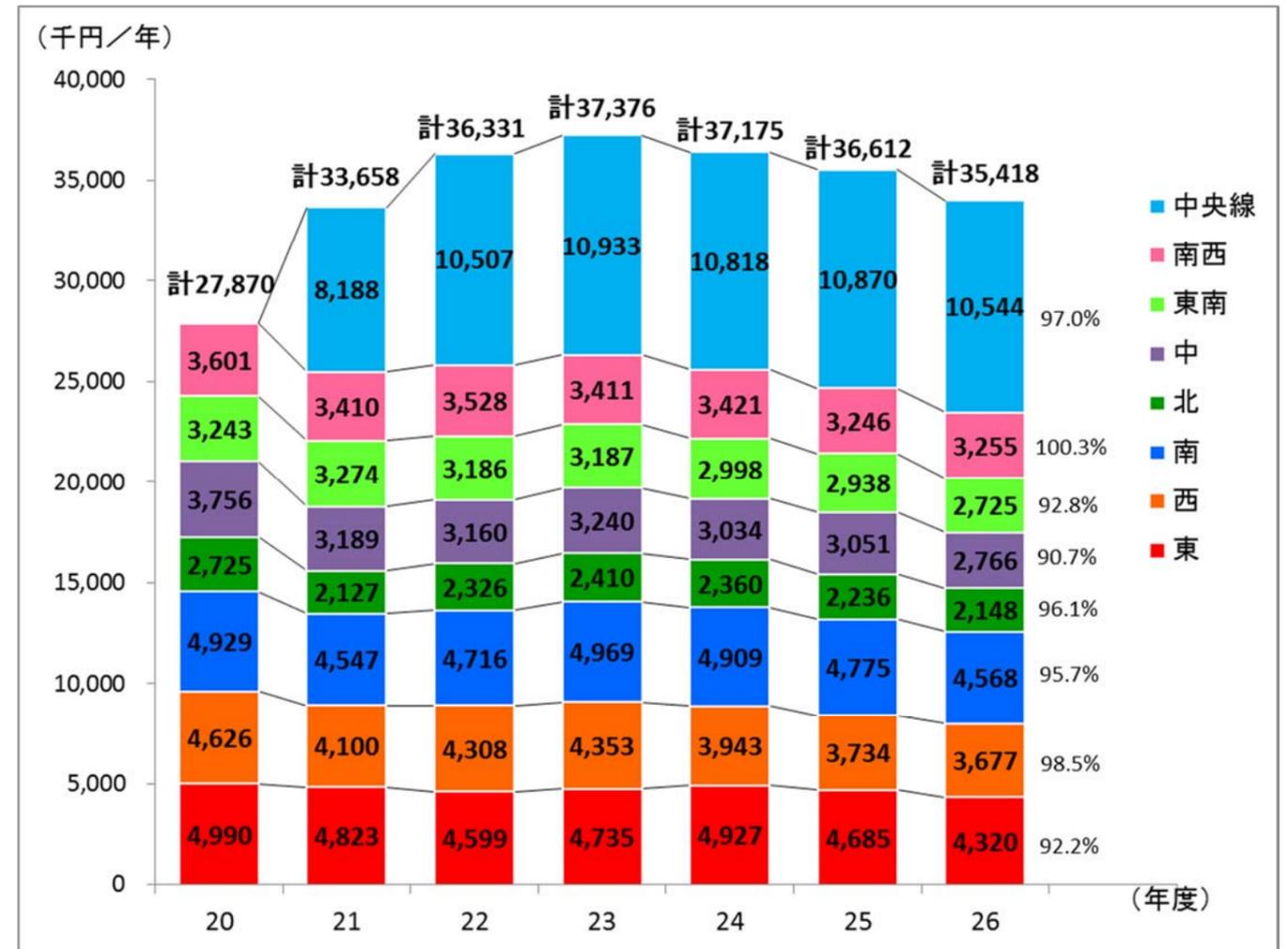
平成 20 年度から平成 26 年度までの車内収入を比較すると、中央線を含めた全体の車内収入は、平成 23 年度をピークに減少し続けており、平成 26 年度も前年度より減少した。

平成 26 年度の結果をコース別に見ると、唯一、南西コースのみ、前年度よりも収入が増加しているが、利用者数の減少が大きかった東コース、中コースでは減少率が高くなっている。中央線は、平成 23 年度までは利用の伸びにあわせて収入も増加してきたが、平成 24 年度から利用増に対して収入減の傾向にあることから、高齢者定期券や無料対象者の方の利用割合が増加してきたと考えられ、この傾向は、引き続き継続しているものと考えられる。

▼くるりんばすコース別の利用者数の推移（H20～26 年度）



▼くるりんばすコース別の運行収入の推移（H20～26 年度）



議題（１）平成２７年度歳入歳出予算について

平成２７年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出予算書（案）

平成２７年度日進市地域公共交通会議の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第１条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 3,210 千円と定める。

２ 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第１表 歳入歳出予算」による。

３ 歳出予算の各科目の予算額に過不足が生じた場合、相互に流用できるものとする。

平成２７年４月２４日提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第１表 歳入歳出予算

歳入 (単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1	負担金	3,208	
2	補助金	1	
3	繰越金	0	
4	諸収入	1	
合計		3,210	

歳出

(単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1	事務費	713	報償費、食料費 契約印紙代、振込手数料
2	事業費	2,495	再編計画基礎調査事業
3	精算金	1	精算金
4	予備費	1	
合計		3,210	

平成２６年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出決算書（案）

平成２７年 月 日提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第１表 歳入歳出決算

歳入 (単位：円)

款	項	予算額	決算額	増減額	説明
1	負担金	13,974,960	13,974,960	0	日進市負担金
2	補助金	6,600,000	6,600,000	0	地域公共交通確保維持改善事業費補助金
3	繰越金	0	0	0	
4	諸収入	1,000	0	△1,000	その他収入無し
合計		20,575,960	20,574,960	△1,000	

歳出

(単位：円)

款	項	予算額	流用増減額	予算現額	決算額	増減額	説明
1	1 会議費	720,000	△196,064	523,936	523,936	0	謝礼、食料費、 印紙、振込手数料
	2 事務費	6,600,000	1,585,064	8,185,064	8,185,064	0	市への精算金
2	1 事業費	13,254,960	△1,389,000	11,865,960	11,865,960	0	調査事業委託料
3	1 予備費	1,000	0	1,000	0	△1,000	
合計		20,575,960	0	20,575,960	20,574,960	△1,000	

上記相違ないことを確認しました。

監 事

印

監 事

印

議題（3） 地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について

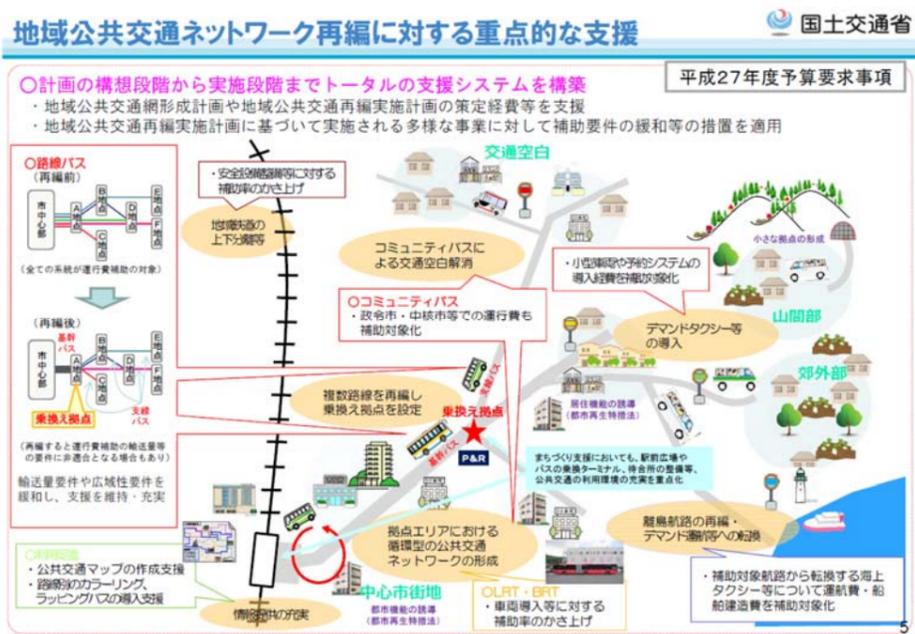
1. 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案の背景

人口減少、少子高齢化が加速度的に進展することにより、公共交通事業をとりまく環境が年々厳しさを増している中、公共交通機関の輸送人員の減少により、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が懸念されている。一方で、人口減少社会において地域の活力を維持し、強化するためには、コンパクトなまちづくりと連携して、地域公共交通ネットワークを確保することが喫緊の課題となっている。このような状況を踏まえ、地域の総合行政を担う市町村・都道府県が先頭に立って、関係者の合意の下に、持続可能な地域公共交通ネットワークを作り上げるための枠組みを構築することが必要になっている。

2. 当該法律案の概要

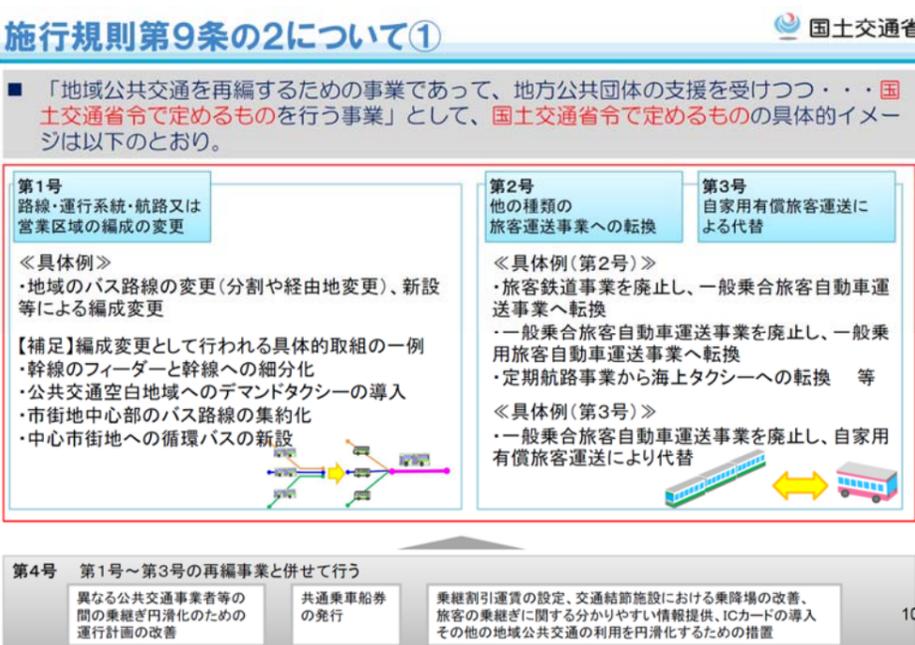
①地域公共交通網形成計画

市町村・都道府県が中心となり、まちづくりと連携した、面的な公共交通ネットワークを再構築するための基本計画「地域公共交通網形成計画」を作成することができる。

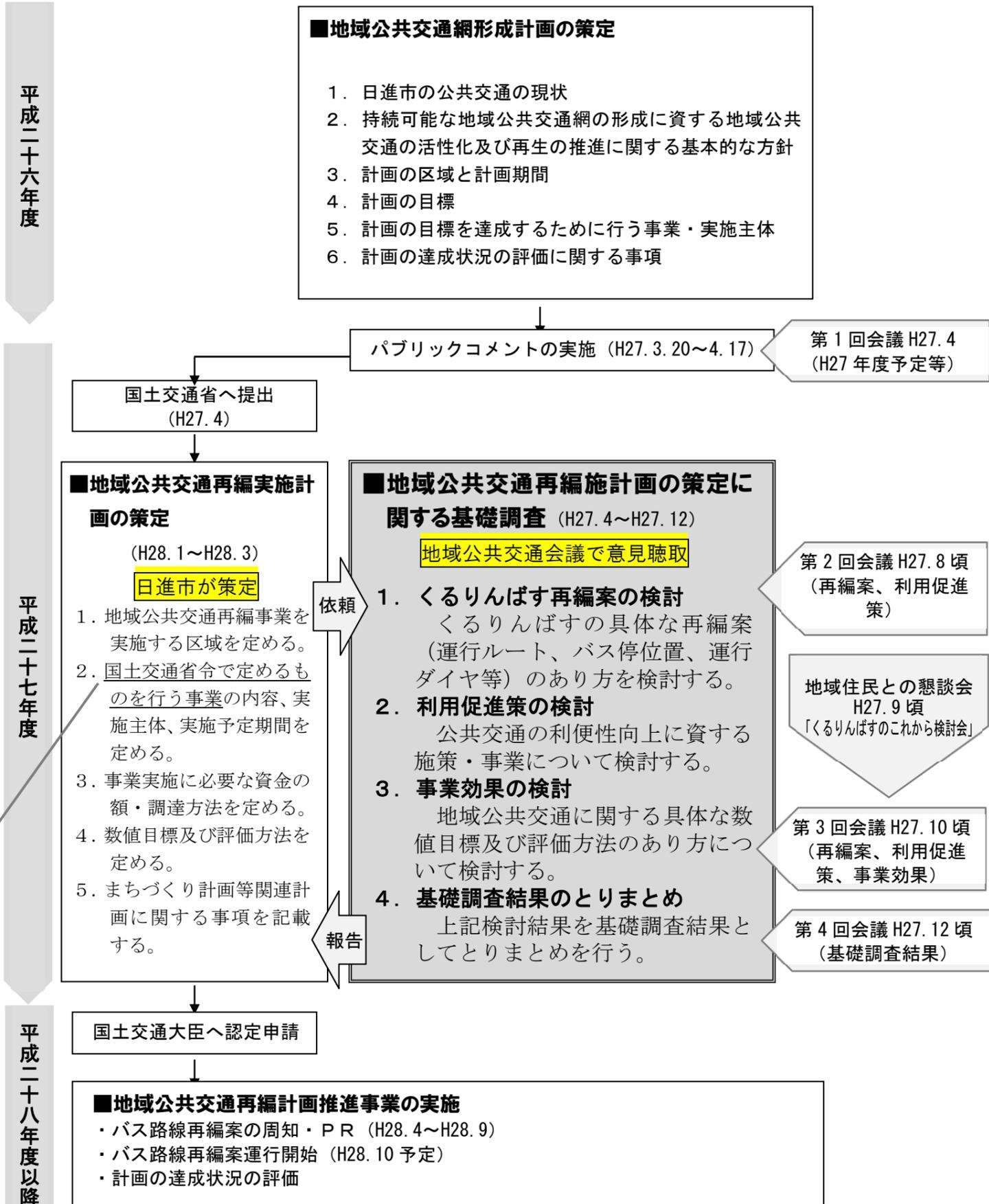


②地域公共交通再編実施計画

市町村・都道府県は地域公共交通網形成計画に即し、公共交通事業者等の同意を得て、地域公共交通を再編する事業を実施するための実施計画「地域公共交通再編実施計画」を作成し、国土交通大臣の認定を申請することができる。認定を受けた地域公共交通再編事業は、道路運送法等の法律上の特例を受けることができる。



3. 地域公共交通再編実施計画の概要とスケジュール案



平成二十六年年度

平成二十七年年度

平成二十八年年度以降

■地域公共交通網形成計画の策定

1. 日進市の公共交通の現状
2. 持続可能な地域公共交通網の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
3. 計画の区域と計画期間
4. 計画の目標
5. 計画の目標を達成するために行う事業・実施主体
6. 計画の達成状況の評価に関する事項

パブリックコメントの実施 (H27. 3. 20~4. 17) → 第1回会議 H27. 4 (H27年度予定等)

■地域公共交通再編実施計画の策定
(H28. 1~H28. 3)
日進市が策定

1. 地域公共交通再編事業を実施する区域を定める。
2. 国土交通省令で定めるものを行う事業の内容、実施主体、実施予定期間を定める。
3. 事業実施に必要な資金の額・調達方法を定める。
4. 数値目標及び評価方法を定める。
5. まちづくり計画等関連計画に関する事項を記載する。

■地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査 (H27. 4~H27. 12)
地域公共交通会議で意見聴取

1. **くるりんばす再編案の検討**
くるりんばすの具体的な再編案(運行ルート、バス停位置、運行ダイヤ等)のあり方を検討する。
2. **利用促進策の検討**
公共交通の利便性向上に資する施策・事業について検討する。
3. **事業効果の検討**
地域公共交通に関する具体的な数値目標及び評価方法のあり方について検討する。
4. **基礎調査結果のとりまとめ**
上記検討結果を基礎調査結果としてとりまとめを行う。

第2回会議 H27. 8頃 (再編案、利用促進策)
地域住民との懇談会 H27. 9頃 「くるりんばすのこれから検討会」
第3回会議 H27. 10頃 (再編案、利用促進策、事業効果)
第4回会議 H27. 12頃 (基礎調査結果)

■地域公共交通再編実施計画推進事業の実施

- ・バス路線再編案の周知・PR (H28. 4~H28. 9)
- ・バス路線再編案運行開始 (H28. 10 予定)
- ・計画の達成状況の評価

議題（２）地域公共交通網形成計画（案）パブリックコメント結果について

意見募集期間

平成 27 年 3 月 20 日(金曜日)から平成 27 年 4 月 17 日(金曜日)まで

意見提出人数

1 名

提出意見数

2 件

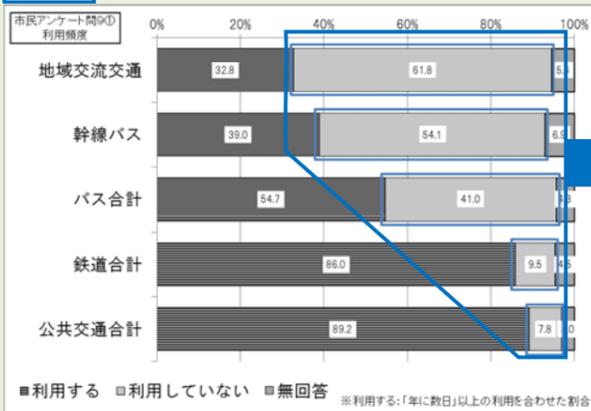
いただいた意見と市の考え方

該当箇所	意見の内容	市の考え方
	<p>くるりんばす中央線の民間路線化をめざすとのことですが、民間の交通事業者は基本的に採算の取れる路線の運行をするものと思います。現在、中央線運行にかかる収支が黒字であるなら、赤池に商業施設が開業することで、中央線は民間事業者にとっても魅力的な路線になるのかもしれませんが、そうでない場合、民間路線化は事業者負担を押し付けることにもなりかねないと思います。</p> <p>現在、中央線運行の収支は黒字なのか、赤字なのか、また民間路線化した際に運行する事業者に対して何らかの助成を行う可能性はあるのか、伺えればと思います。</p>	<p>現在の運行形態において、サービスレベル(便数、運行時間)を向上させるには限界があることから、民間路線化を目指すものです。</p> <p>中央線の収支率は、くるりんばす全体の収支率と異なり、平成 25 年度実績で約 50%となっています。</p> <p>中央線は平成 21 年度からくるりんばすの一部となりましたが、その前年は補助路線として市が運行経費を補助していた経緯があります。</p> <p>民間路線化後は、利用者の増加を目指すことで最終的には黒字を目標とすることになりますが、それまでの間は、必要な対応を行うものと考えています。</p>
P79	<p>現在、くるりんばす高齢者定期券で中央線にも乗車することができますが、これを民間路線化する場合、対象から外れるのでしょうか。行政サービスを最適化するための路線再編ですから、民間路線化された中央線が対象外になることも妥当とは思いますが、不便をこうむる市民もいますので、十分な説明をしていただきたいです。</p>	<p>事業継続性の観点から、原則的には、利用者の皆様には利便性に応じた負担をいただく必要があると考えています。</p> <p>また、民間路線化により、現行では適用されないサービス(通勤・通学定期、乗継割引等)の利用が可能となることで利便性が向上する方もあると考えています。</p> <p>民間路線化後における割引制度等については、関係機関と協議する必要がありますので、今後の検討とさせていただきます。</p>

成果指標の設定根拠

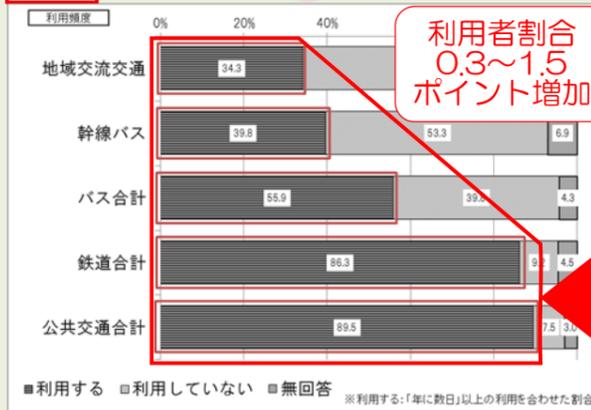
成果指標①：利用者割合

現況



「利用していない」と回答した人 (約 8~62%)

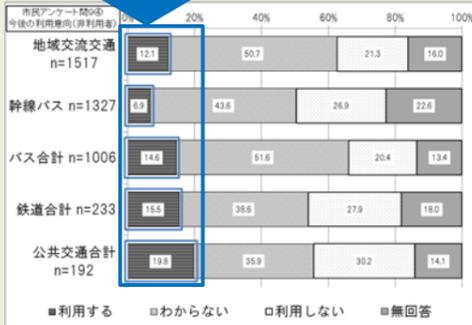
H32



利用者割合
0.3~1.5
ポイント増加

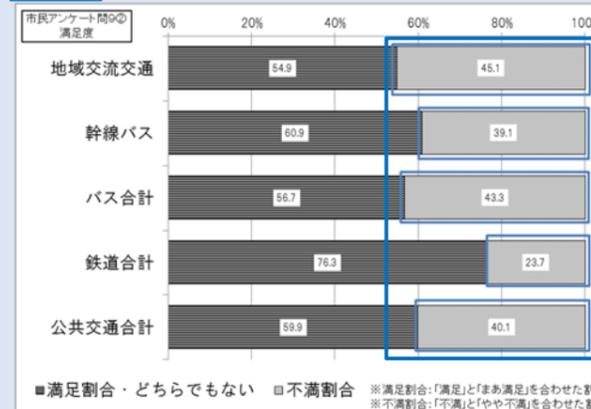
利用へ転換
利用しない理由が改善したら、「利用する」と回答した人 (約 7~20%) のうちの 20% が「利用する」へ転換

※「利用する」は市民アンケートの問9で「年に数日」以上利用すると回答した人の割合
※参考：土木学会「バスサービスハンドブック」



成果指標③：不満割合

現況



利用者のうちの「不満割合」を回答した人 (約 24~45%)

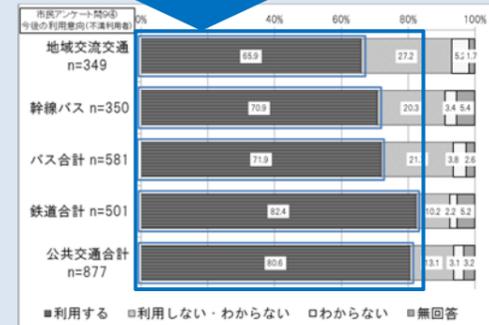
H32



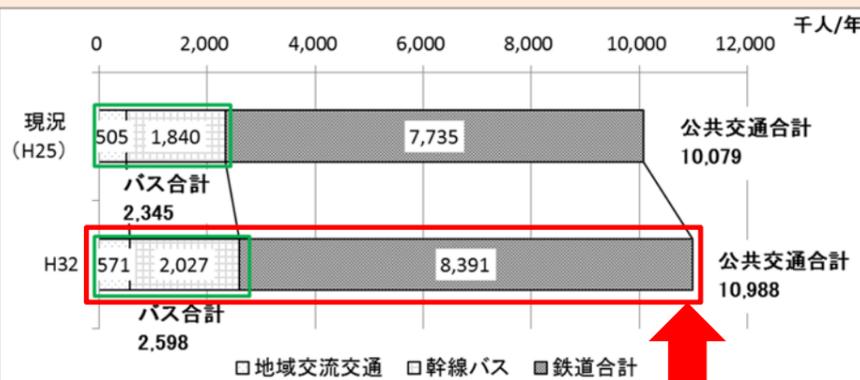
不満割合
7~8ポイント
改善

不満から転換
「不満の理由が改善したら、「利用する」と回答した人 (約 66~82%) のうちの 46~22% が「満足割合」へ転換

※「満足割合」は市民アンケートの問9で「満足」または「まあ満足」と回答した人の割合
※「不満割合」は市民アンケートの問9で「不満」または「やや不満」と回答した人の割合
※参考：土木学会「バスサービスハンドブック」

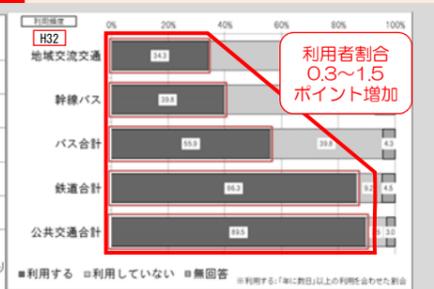


成果指標②：利用者数



利用者数
8~13%増加

利用者割合の増加 (約 1~5%増) と人口増加 (約 8%増)



利用者割合
0.3~1.5
ポイント増加

◆ 成果指標推計結果

利用者割合推計 (%)	現況	H32
地域交流交通	32.8	34.3
幹線バス	39.0	39.8
バス合計	54.7	55.9
鉄道合計	86.0	86.3
公共交通合計	89.2	89.5

乗車人員推計 (千人/年)	現況	H32
地域交流交通	505	571
幹線バス	1,840	2,027
バス合計	2,345	2,598
鉄道合計	7,735	8,391
公共交通合計	10,079	10,988

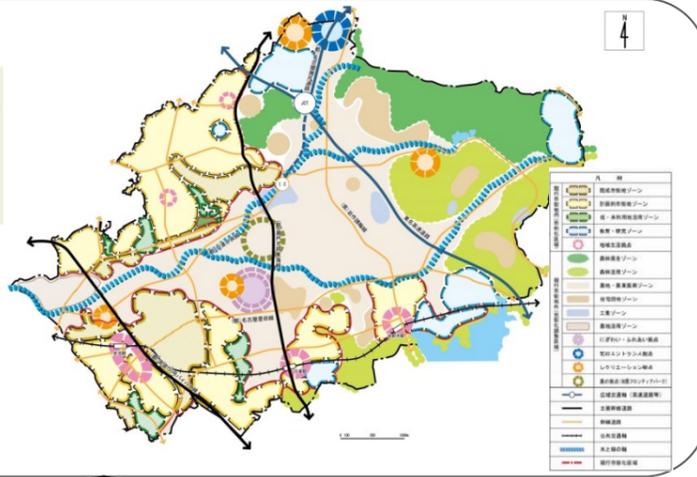
不満割合推計 (%)	現況	H32
地域交流交通	45.1	38.3
幹線バス	39.1	31.7
バス合計	43.3	35.6
鉄道合計	23.7	17.2
公共交通合計	40.1	31.6

4. 計画の目標

パブリックコメント案

都市の将来像

いつまでも暮らしやすい
みどりの住環境都市



日進市の
交通将来像

公共交通を利用して、誰もが安心して
出かけられる、交通環境が充実したまち

公共交通の基本方針

- 1 高齢社会への対応として、誰もがわかりやすく、安全で利用しやすい公共交通とします。
- 2 移動ニーズへの対応として、周辺市町への移動がしやすい公共交通ネットワークを形成します。
- 3 公共交通の利用促進として、魅力的な移動環境を創出します。
- 4 まちづくりとの一体化により、「いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市」の実現に向けた戦略的な公共交通体系を構築します。
- 5 多様な主体の連携により、持続可能な公共交通維持システムを構築します。

公共交通ネットワークのサービス水準

- 公共交通軸として機能する鉄道及び路線バスについて、その機能を維持します。
- 各地域と中央エリアのアクセスについて、ネットワークを再構築します。
- くるりんばすは、現在の7コースをベースに、市民の生活行動、利用実態を踏まえ、路線を再編します。

目標とする成果指標

[目標年次：平成 32 年]

- 日頃バスを利用する人※の割合

幹線バス	33% [H25]	⇒	35%以上
地域交流交通	39% [H25]	⇒	40%以上
- 公共交通利用の不満割合

幹線バス	39% [H25]	⇒	35%以下
地域交流交通	45% [H25]	⇒	40%以下

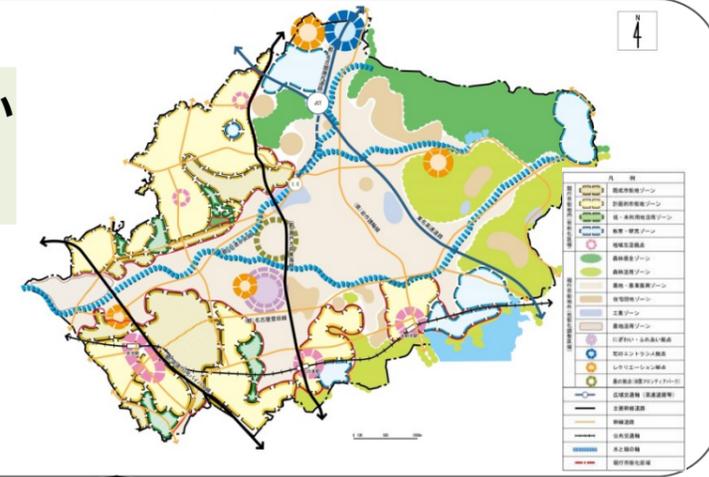
※年に数日以上の利用がある人

4. 計画の目標

修正後

都市の将来像

いつまでも暮らしやすい
みどりの住環境都市



日進市の
交通将来像

公共交通を利用して、誰もが安心して
出かけられる、交通環境が充実したまち

公共交通の基本方針

- 1 高齢社会への対応として、誰もがわかりやすく、安全で利用しやすい公共交通とします。
- 2 移動ニーズへの対応として、周辺市町への移動がしやすい公共交通ネットワークを形成します。
- 3 公共交通の利用促進として、魅力的な移動環境を創出します。
- 4 まちづくりとの一体化により、「いつまでも暮らしやすい みどりの住環境都市」の実現に向けた戦略的な公共交通体系を構築します。
- 5 多様な主体の連携により、持続可能な公共交通維持システムを構築します。

公共交通ネットワークのサービス水準

- 公共交通軸として機能する鉄道及び路線バスについて、その機能を維持します。
- 各地域と中央エリアのアクセスについて、ネットワークを再構築します。
- くるりんばすは、現在の7コースをベースに、市民の生活行動、利用実態を踏まえ、路線を再編します。

目標とする成果指標

[目標年次：平成 32 年]

- 日頃バスを利用する人※の割合 (%)

幹線バス	39.0% [H26]	⇒	39.5%以上
地域交流交通	32.8% [H26]	⇒	34.0%以上
- 公共交通の利用者数 (千人)

公共交通全体	10,079 [H25]	⇒	10,900 以上
--------	--------------	---	-----------
- 公共交通利用の不満割合 (%)

幹線バス	39.1% [H26]	⇒	35.0%以下
地域交流交通	45.1% [H26]	⇒	40.0%以下

※年に数日以上の利用がある人

(参考資料) くるりんばすを取り巻く状況の変化

和暦(年度)		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	
西暦(年度)		1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	
くるりんばすの概況	運行形態	週2日・4便(試験運行)			週3日・8便(本格運行)		毎日(年末年始除く)・9便				毎日(年末年始除く)・11便				毎日(年末年始除く)・11便						
	運賃	無料				一般(65歳未満)有料化100円				65歳以上有料化100円、高齢者1か月定期券(1,000円)の販売開始、				7コース100円、中央線200円							
	運賃特例	—				無料対象者(中学生以下・障害者)を設定、乗継券の発行開始				無料対象者に要介護者を追加				乗継券の発行場所を市役所限定に変更							
	バス停数				75	75	98	98	102	106	183	183	194	196	344	348	348	348	350	350	
	利用者数(人)	16,857	23,880	23,420	99,361	121,332	240,539	284,621	313,430	305,732	399,826	424,693	452,688	499,331	492,216	493,542	490,610	507,119	504,882	484,008	
	運行経費(千円)				36,389	35,805	81,964	85,875	85,938	85,938	125,123	122,864	121,378	124,572	162,544	170,728	170,758	170,697	170,911	175,422	
	運賃収入(千円)				0	0	7,493	8,534	9,204	8,919	23,275	23,543	24,823	27,869	33,658	36,330	37,376	37,175	36,611	35,391	
	市負担額(千円)				36,389	35,805	74,471	77,341	76,734	77,019	101,848	99,321	96,555	96,703	128,886	134,398	133,382	133,522	134,300	140,031	
	収支率				—	—	9.1%	9.9%	10.7%	10.4%	18.6%	19.2%	20.5%	22.4%	20.7%	21.3%	21.9%	21.8%	21.4%	20.2%	
	見直しの概況	東	H8.4~						米野木西	浅間下		三本木区民会館	新車両導入	米野木駅乗入7バス停増設3バス停廃止	5バス停増設					米野木東仲・本米野木移設	
西		H8.4~								東名古屋病院	浅田北新車両導入		図書館	日生梅森園、梅森台五丁目							
南		H8.4~						寺脇			東山グランド	新車両導入		栄、美濃輪池、箕ノ手、赤池北							
北		H8.4~						竹の山北	つばき台浅間下		長久手古戦場駅	市役所東	新車両導入	図書館	2バス停増設9バス停廃止	長久手古戦場駅 愛知学院大東			五色園東・五色園南、往復停車		
中							H13.5~	岩崎台・香久山福祉会館	浅間下		新車両導入	神明		図書館	5バス停増設2バス停廃止	岩崎橋東					
東南											H17.4~新車両導入	三本木区民会館 市役所東			5バス停増設1バス停廃止				本米野木移設		
南西											H17.4~	上松、市役所東	新車両導入		5バス停増設1バス停廃止				赤池南一丁目移設、赤池南二丁目廃止		
中央線															廃止代替	H21.4~					
利用促進策等				愛称決定		市民会館発着⇒市役所発着						全車ノンストップバス導入完了		無料バスカードの発行開始	運転免許証自主返納者無料バスカード発行開始	マナカ導入、にぎわい交流館で定期販売	コミたん掲載年末試行運行	路線図・時刻表一体化3ヶ月定期券開始	名鉄バスロケーションシステム導入(H26.3~)		
日進市の概況	人口(人) ※住基ベース	59,686	62,223	63,981	65,553	67,521	68,741	70,181	71,722	73,750	75,583	76,963	77,888	79,184	80,680	81,568	82,701	84,317	85,365	86,099	
	高齢者人口(人)	6,341	6,737	7,152	7,561	7,974	8,656	8,775	9,471	9,971	10,510	11,128	12,226	12,791	13,482	13,748	14,260	14,614	15,406	16,113	
	高齢化率	10.6%	10.8%	11.2%	11.5%	11.8%	12.6%	12.5%	13.2%	13.5%	13.9%	14.5%	15.7%	16.2%	16.7%	16.9%	17.2%	17.3%	18.0%	18.7%	
	世帯数	20,762	21,900	22,757	23,432	24,317	24,911	25,631	26,350	27,296	28,238	29,052	29,654	30,445	31,269	31,787	32,294	33,051	33,368	33,778	
	市街地整備(土地区画整理事業)	S61-折戸東部【栄二丁目~四丁目】					H11														
		H8-新ラ田ヶ丘【香久山五丁目】					H11														
		H4-赤池モチロ【赤池南一・二丁目】																			
		H14-高峰【赤池三丁目】																			
		H5-竹の山南部特定																			
	H7-米野木駅前特定																				
道路整備	南山の手線																				
施設立地	スポーツセンター		中部保育園	エコドーム相野山福祉会館			子育て支援センター(栄) 梨の木小学校	岩崎台・香久山福祉会館、生涯学習プラザ			上納池スポーツ公園	北部福祉会館 赤池小学校	図書館	西部福祉会館 新ラ田保育園			障害者支援センター	竹の山小			
一般会計費(千円) ※決算ベース	19,385,778	17,794,570	18,920,910	20,475,198	18,267,405	21,924,735	19,976,747	17,900,528	19,429,747	21,639,333	21,153,413	23,656,528	23,615,340	23,253,590	22,223,633	21,795,740	22,169,984	20,718,846			
バスを取り巻く環境の変化	公共交通に関する法制度						道路運送法改正(需給調整規制の廃止)				道路運送法改正(乗合旅客の運送に係る規制の適正化)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の施行					地域公共交通確保維持改善事業開始(西・北・中央線)	交通政策基本法施行(H25.12.4)	改正地域公共交通の活性化及び再生に関する法律施行(H26.11.20)		
	社会情勢の変化		京都議定書締結			地方自治法改正 中央省庁再編	栄バスターミナル(名古屋)開業	イラク戦争 原油価格の高騰 夢花火最終	地下鉄名城線 環状化、あおなみ線開通	愛知万博 リニモ開業 平成の大合併		新潟県中越沖地震	リーマンショック	ETC土日祝料金1,000円 夢花火再開			東日本大震災 春まつり中止				